

3月の見どころ 囲碁番組

 囲碁・将棋チャンネル

第34期 竜星戦

Gブロック3回戦には張 瑞傑六段が登場。第32期にブロック戦 10 連勝を記録している。前期は勝ち星がなかったが、今期は心機一転、白星を集めて決勝トーナメント進出を目指す(19日)。

26日から4回戦に突入。Aブロックには小池芳弘七段が登場。本因坊戦で 2 期連続本戦入りなど、各棋戦で安定した結果を出している。手厚い打ち回しでまずは初戦突破なるか(26日)。

B ブロックには横塚 力七段が登場。昨年 12 月に広島アルミ杯・若鯉戦で初の棋戦優勝を飾り、充実している。本棋戦では第 32 期のベスト 8 が最高成績。今期はさらなる飛躍に期待したい(31日)。

3月は他に、光永淳造六段(3日)、寺山 怜六段(5日)、鶴田和志七段(10日)、呉 柏毅六段(12日)、小山空也六段(17日)、田尻悠人五段(24日)が今期初登場する。



20250301igo.psd / 横塚 力七段 © 囲碁・将棋チャンネル

第28期 ドコモ杯女流棋聖戦

9日からはいよいよ挑戦手合三番勝負をオンエアする。前期は上野梨紗二段(当時)が仲邑 堇女流棋聖に挑戦し、フルセットの激闘の末、初タイトルを獲得した。今期、上野女流棋聖は初防衛・連覇なるか。あるいは多士済々のトーナメント戦を勝ち抜いてきた挑戦者が勢いを駆って奪取を果たすか。盤上の熱い戦いに最後までご注目ください。

(毎週日曜午後8時~他放送)



20250302igo.psd / 上野梨紗女流棋聖 © 囲碁・将棋チャンネル

囲碁 AI アナリシス

引き続き、「第49期 碁聖戦」から厳選した棋譜を王 銘琬九段が分析する。

7日は準決勝、安達利昌七段 vs 福岡航太朗五段。終盤に形勢が二転三転した本局、新進気鋭の福岡五段を安達七段はどう押さえ込んだのか。

21日からは挑戦手合五番勝負を精査。初の碁聖挑戦権を獲得した芝野虎丸名人(当時)だったが、井山裕太碁聖の牙城を崩すことは叶わなかった。ストレートで4連覇を達成した井山碁聖の勝負強さがAIの候補手との比較で浮かび上がってくる。

(毎週金曜午後6時~他放送)

3月の見どころ 将棋番組

 囲碁・将棋チャンネル

第33期 銀河戦

今月は3回戦からオンエア。Cブロックには岡部怜央四段が登場。昨年10月に加古川清流戦で準優勝した若手ホープだ。今年度は特に好調で、連勝ランキングや勝数ランキングでも上位につけている。早指し棋戦の朝日杯でも活躍しており、本棋戦でも期待したい(6日)。

Dブロックには梶浦宏孝七段が登場。今期順位戦C級2組では序盤の不戦敗にも挫けずトップを走ってきた。本棋戦でも前期はブロック戦7連勝、ベスト8の好成績を挙げたが、より上を狙っていく(11日)。

Gブロックには佐々木大地七段が登場。去年はトップ棋士しか出場を許されない将棋日本シリーズJTプロ公式戦の舞台を初めて経験し、堂々たる指し回しを見せた。本棋戦でも存在感をアピールできるか(20日)。

3月には他に、佐藤慎一六段(4日)、佐藤紳哉七段(13日)、高野智史六段(18日)、八代 弥七段(25日)、飯塚祐紀八段(27日)が今期初登場する。



20250301shogi.psd / 佐々木大地七段 © 囲碁・将棋チャンネル

生放送 ALSOK杯 第74期 王将戦 七番勝負

藤井聡太王将に永瀬拓矢九段が挑む新年最初のタイトル戦を全局生放送。

今期もついに決着の時が来た。藤井王将の4連覇か、永瀬九段の無冠返上か。劇的な逆転で藤井王将が八冠を達成し、永瀬九段が名誉王座の称号を逃した第71期王座戦五番勝負など、二人の番勝負はこれまで数々のドラマを生んできた。今期王将戦も最後まで目が離せない。

両者が知力・体力の限りを尽くす七番勝負、臨場感あふれるライブ映像で最後までお楽しみください。

(第5局:8・9日、第6局:21・22日、第7局:29・30日)



20250302shogi.psd / 藤井聡太王将(左)、永瀬拓矢九段(右)
© 囲碁・将棋チャンネル

